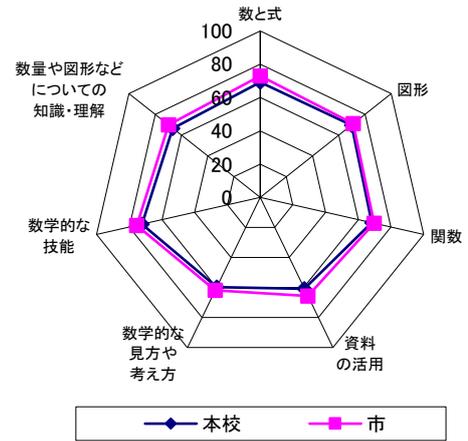


# 宇都宮市立陽南中学校 第3学年【数学】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と式	69.2	73.0	67.5
	図形	69.6	71.1	59.5
	関数	68.2	69.7	60.0
	資料の活用	60.9	65.6	58.5
観点別	数学的な見方や考え方	59.8	61.8	49.6
	数学的な技能	72.2	75.4	68.9
	数量や図形などについての知識・理解	66.6	69.8	62.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	<ul style="list-style-type: none"> <li>○乗法公式を使った式の展開や因数分解の問題では、市の平均とほぼ同じ正答率である。</li> <li>○分母を有理化し、根号を含む式の減法では、市の平均より1.3ポイント高い。</li> <li>●単項式の乗除の混じった計算では、市の平均より7.8ポイント低い。</li> <li>●<math>(x+m)^2=n</math>の形の2次方程式を解く問題では、市の平均より11.5ポイント低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な計算問題も大切に扱い、繰り返し復習し、理解が深まるよう指導する。</li> <li>・問題を解決する際に、その数が何を表しているのかについて丁寧に扱い、解決するときの考え方や手順を理解させ、適切な方法で解決できるよう指導する。</li> </ul>
図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図形に関する問題は、他の領域と比較して正答率が高い。</li> <li>○三角形の合同条件を判断し証明を完成させる問題では、市の平均より0.5ポイント高い。</li> <li>●多角形の内角の和の性質について問う問題では、市の平均より3.8ポイント低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図形を読み取る、想像することを大切に、基本的な図形の性質をきちんと理解できるよう指導する。</li> <li>・図形に関する基礎知識や定理などを丁寧に復習し、証明に必要な事柄に結びつくよう授業展開を工夫する。</li> <li>・苦手な生徒には、全体像を意識させる。解答のみならず途中の考え方を大切に扱い、論証の苦手意識をなくすよう努める。</li> </ul>
関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○座標平面上に頂点をもつ長方形の面積を求める問題では、市の平均より1.9ポイント高い。</li> <li>○1次関数について、式とグラフを関連づける問題では市の平均より0.9ポイント高い。</li> <li>●1次関数についての応用問題で、表やグラフから内容を理解し正答を求める問題では、市の平均より5.7ポイント低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2つの数量の関係から、「式」「表」「グラフ」の関連を意識しながら、理解を促す指導をする。</li> <li>・日常生活の中で興味関心が高まるような身近な問題から、関数の値の変化や特徴を理解させるよう指導する。</li> <li>・常に根拠をもとに自分の考えを説明することを通して、論理的な表現力を身に付ける指導をする。</li> </ul>
資料の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○確率を求める問題では、市の平均とほぼ同じ正答率である。</li> <li>●度数分布表から平均値を求める式を選ぶ問題では、市の平均より12.8ポイント低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を整理し活用する問題では、度数分布表やヒストグラムなどの言葉の意味など丁寧に指導するとともに、興味関心が高まるような身近な問題を取り上げるよう指導する。</li> <li>・資料から読み取る力を身に付けるために、身近な事柄から考えることを習慣化するように指導する。</li> </ul>